

コラム NHK による防災スポット放送への協力



写真-1 土砂崩れについての説明



写真-2 河川増水についての説明



写真-3 石狩吹雪実験場での説明 (NHK 映像)



写真-4 吹雪室内実験装置を使った撮影

NHK では昨今、災害に備え防災関連の放送に力を入れていることから、同札幌放送局から北海道民向けに注意喚起を行うためのテレビとラジオの防災スポット放送（番組と番組の間の約1分間の告知コーナー）（テレビは「防サイくんがゆく」）へ協力依頼がありました。この依頼に対して寒地土木研究所では、防災地質チーム、寒地河川チーム、雪氷チーム、寒地機械技術チームが取材に応じ、番組づくりに協力しました。なお、雪氷チームがテレビ向けに行った説明はNHKのホームページ上の防災サイトでも3種類の動画により冬期間公開されました。

1 融雪期の土砂災害・河川増水に対する注意点等について

平成25年4月19日に収録が行われ、防災地質チームは融雪期の土砂災害のメカニズム、前兆を見分けるポイント等について、また、豊平川の河川敷地では寒地河川チームが融雪期の河川増水の特徴、河川敷での注意点等について説明し、4月から5月末までの間、テレビで23回放送され、効果的な注意喚起に貢献しました。

2 冬期間の暴風雪に対する備え等について

雪氷チームの上席研究員がNHK札幌放送局の暴風雪研究会に招かれて同局のアナウンサーを対象に暴風雪の特徴や備えなどについて講師を務めました。また、平成25年11月29日に石狩吹雪実験場において収録が行われ、雪氷チームが防雪柵の種類、切土、盛土での吹きだまりの特徴の他、吹きだまりで車が立ち往生した場合の注意事項、車に搭載すべきもの等について説明し、寒地機械技術チームは吹雪室内実験装置を使った模型車両が吹きだまりに埋まる場面の撮影で協力しました。収録内容は12月から3月末までの間、テレビで25回、ラジオで56回放送されました。